

平成17年度に国土交通省環境行動計画モデル事業実施地域として選定された地域の事業構想一覧

テーマ	応募主体	実施地域	概要
1 「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通(EST)への転換	八戸市	八戸市	バスを中心にした公共交通の再編・再構築等により公共交通への利用転換を促進し、トランジットモールの導入を検討することによって都心の再生を図るほか、低公害車バスの導入やITSの活用によるサービス改善、渋滞緩和や歩行空間の確保による道路整備を推進する。
2 環境共生モデル都市圏における地球環境にやさしい交通体系づくり	神奈川県	相模原市、座間市、厚木市、海老名市、寒川町、茅ヶ崎市、藤沢市など	平成17年11月22日に認定された「神奈川カーシェアリング利用促進特区」にあわせて、民間事業者によるカーシェアリングの県内拡大を図ることや、鉄道及びバスの利便性向上方策により自動車交通から公共交通等への転換を図ることによって、地球環境にやさしい交通体系のまちづくりを目指す。
3 はだの交通スリム化推進事業	秦野市	秦野市	近隣工業団地等における通勤時の交通マネジメント、PTPSによるバス走行改善、ノーマーカーデー、短距離区間の自転車通勤支援策等をおこない、公共交通の利用を促進し自家用自動車に過度に依存しない広域的な街づくり・交通体系の構築を図る。
4 新潟都市圏総合都市交通計画におけるバス利用の推進	新潟市	新潟市	バスを中心にした公共交通の再編・再構築、バスの運行状況の情報提供、パーク＆バスライド等により公共交通への利用転換を促進し、新潟市の広域交通体系において公共交通による都心への結びつきを強くすることによって、賑わいのある都心の構築を図る。
5 金沢都心部の渋滞解消と公共交通の利用促進による環境負荷軽減	石川県	金沢市	金沢市中心部周辺に設けた駐車場を有効活用したパーク＆バスライド等を実施し、市中心部のバス交通の見直しや渋滞の原因であるボトルネック交差点を改良することにより、公共交通の利用促進等による環境負荷の軽減された観光都市を目指す。
6 NPOとの協働による環境に配慮したまちづくりモデル事業	大阪府	箕面市	NPO等との協働により、湧水等の利用やビオトープ池の設置、環境配慮型のバスの導入などを行い、環境に配慮した新しいまちづくりを目指す。
7 大阪市における環境負荷の少ない都市内移動システムの確立	大阪市	大阪市港区など	地域一体型の事業者向けや学校向けのモビリティマネジメント、マップ等を用いたTDM等の啓発事業を実施し、ICカードの導入や駅のバリアフリー化により鉄道・バスによる公共交通利用促進を図るほか、交通流の円滑化事業等を組み合わせることにより都市内移動の環境負荷軽減を目指す。
8 豊中市における人と街に優しい持続可能な交通をめざして - とよなか夢創(輸送)プランの推進 -	豊中市	豊中市	条例に基づくエコドライブの推進、自転車・公共交通利用マップ等による交通環境教育の実施、カーシェアリング等の実証実験のほか、低公害車導入アクションプランの推進、大阪大学と連携した持続可能な都市の評価とPR、バリアフリー施設の設置による公共交通への利用転換を図る。
9 尼崎西宮臨海部における環境にやさしい交通基盤・システムの構築モデル事業	兵庫県	尼崎臨海部	国道43号と阪神高速湾岸線に挟まれた尼崎臨海地域における排気ガスによる大気への負荷を低減するため、バスの試験運行を開始し、自転車道の整備や歩行空間の確保を図ることによる自動車利用を抑制を図るほか、低騒音・透水性舗装の実施、木製防護柵等の道路施設を整備する。
10 広島における「ひと」「環境」にやさしい交通体系づくり	広島市	広島市	路面電車のLRT化や交通結節点の改善、低公害バスの導入等による公共交通利用の推進、自動車専用道路の整備や都心を通過する自動車交通の排除、パーク＆ライドや時差通勤、ノーマーカーデー、モビリティマネジメントによる交通需要マネジメントの推進等により、人間を中心に据えた環境への負荷の小さい持続可能な都市の形成をめざす。
11 福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化	福山市	福山都市圏(福山市、尾道市、府中市、笠岡市、井原氏、神辺町)	交通円滑化総合計画に基づく地域における渋滞緩和を図るため、ノーマーカーデーを中心にした通勤交通対策の実施、学校教育におけるTFP調査の実施、公共交通機関の利便性向上を目指したレンタサイクル事業や駅前広場の整備により環境負荷軽減を推進する。